

刊夕日九月三



定価一冊一ヶ月五拾五銭 郵費別
 廣告料五拾二字一頁五拾五銭
 日曜祭日の翌日休刊
 発行所 常磐毎日新聞社
 社址 青森市本町三丁目三番地
 電話 六三〇
 印刷所 常磐毎日印刷株式会社
 社址 青森市本町三丁目三番地

ハルピン事變籠城記 (二)

ハルピン日本小學校長 白髮隆孫氏寄

△一月二十六日

吉林軍と當地護路軍との反目がかねて何事かあらんと推定したる通り、早朝太平橋方面より大型バスにて運ばれて来た、約六連の濱縣、李杜軍の一團は午前八時濱江公安局憲兵隊をはじめ、傳家甸の要所を占領し、巡警四名射殺、これが爲傳家甸は朝來交通社絶し商店は全部閉店、許公路を中心として機關銃を据えつけ、日本人は勿論露支人も一齊に近くには寄せつけず、時態愈々危機に迫つた。

日本當局は忽ち義勇隊の非常召集を行ひ、特別警戒を行ふことになつた。
 丁超(二八旅)刑占清(二六旅)の主力は志士の記念碑附近に配置され塹壕を作成して、約一里の所に接近せる吉林軍に對し警戒中である。

張景惠は兩軍の間に立ち調停中なれど如何に展開するか豫測されず、市内は極度の不安に襲はれた。
 これが爲め吾校は本日第二時限授業を中止し、全職員附添の下に兒童を歸宅せしめ、時局の安定まで再度

の臨時休業の止むなきに至つた。

△一月二十七日

吾清水飛行大尉の戦死を始め、到るところに同胞の流血の惨を見、反吉林軍は多軍を頼んで、市中を横行掠奪、暴行、實に言語に絶した。

本校御眞影は二十七日午前十一時流彈の飛來し來る總領事館内に小職外二名の警護員と共に無事奉還す。
 夜九時頃遂に吾大北新報社は反吉林軍のために掠奪せらるゝに至つた。

△一月二十八日

反吉林軍のために市中は我嚴令を布くこととなり、危険刻々に迫りたるにより日本居留民會は豫て用意せる避難所に婦女子を悉く收容したるも酷寒零下三十度

いとし子の風の相手や若き母
 悠々たる詩風や日和續きけり
 我風の下や高流捨て小舟
 大風の尾先に舞ふや奴風

高月會句抄 (六) [二月例會]

鐘梅 秀峰 胡生 紅果

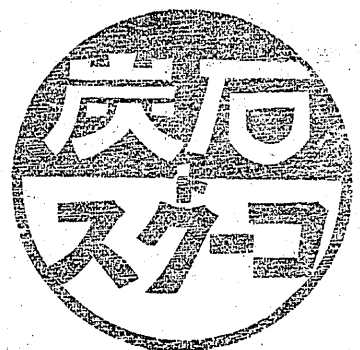
か、或は蘇聯領事館内にては皇軍の北上に對して種々對抗策を考究しつゝありと云ふ、流言紛々今日の哈市は日中露の三國勢力の肅立の間にあり、而してその分野

此數日の間に決するものは皇軍の北上に對して種々對抗策を考究しつゝありと云ふ、流言紛々今日の哈市は日中露の三國勢力の肅立の間にあり、而してその分野

藤田女學校生徒募集

- 一、本科 五十名
 - 二、裁縫專修科 百名
 - 三、師範科 三十名
 - 四、專攻科 二十名
 - 五、本科裁縫專修科二年補欠編入若干名
- (新設)選科(晝間部)五十名
 (夜間部)三十名
- 右希望者ハ至急願書提出ノコト詳細ハ本校宛學則請求セラルベシ
 昭和七年三月

福島縣平町町
 文部大臣 藤田女學校
 認可
 電話三二八番



(良い品を安く賣る店) 一
 電二三七番
阿部石炭商店

まあ！
 よく、此の品が
 こんなに。お安く
 頂けますこと
 わたし
 お隣りへも
 お奨め
 しませうかしら

旭硝子株式會社製品
板ガラス
 硝子食器
 菓子壺
 其他各種

松崎硝子製作所

平町新川町(電話一四二番)
 支店工場 仙臺市榮町 電話五九四番

花環 花籠 華蓮
 新らしく安い
造花
 靈柩自動車御用
 町川新町平
屋本橋
 電話一六三番

意用御の級進學入方様子お
ルセドンラ
 總革製
 七十八錢
 九十錢
 一圓卅錢
 四圓廿錢

靴。子帽生學
ヤルツ
 〇四一電

六日 開催 詩南社短歌會詠草

思(一)

今日もまた胸のいたみに悶えつゝ一日炬燵に物を思へり
城跡の静かなる堀の岸に立ちて遠く離れし友を想へり
波の面を眺めて居しに灯のつきてハット思ひて立ち歩む哉
夜汽車にて過ぎにし想ひ新たなり我が故郷を訪はなむ
三村 哲 郎
春なれば我が故郷は花にみつる山里なれば忘れな
くは
ひたすらに都あくかれ出し我思ひは遠きふるさとの
空
清野 小 菊
たれ昇る線香の煙をながむればまだ在りし日の父上
ぞ思ふ
今日は早やなき敷に入るその君のなきたよりを胸に
思へり
吉田 歌 代 子
事なきに友のあなどり黙く居て我怒りの胸にせき
くる
病みがちの越國にある弟を絶えず氣すかふ日の多き
哉
根本 信 義
福壽草の咲きたる鉢を床に据ゑ正月らしきおもひた
ぬしむ
とどろきてせかれし水のなだれ散る月夜の淵に泣か
ざらむとす
矢 吹 夕 秋
饑生るゝ海と思ひぬ三月のまひるを一人室ぬちに居
て
玫瑰の熟るゝ濱邊に差らへるメノコを追ひし憶ひ出
に笑む
赤 井 岳 男
せゝらぎの夕の音はいやまさりひとりの母の想ひ寂
しむ
はゝそはの母とさかりて住む吾の生業想へば寂しさ
のあり
大 平 松 夫
滿蒙の大平原に戦へるますらを思ふみくにのために
爆薬を抱き敵陣におどりこむ勇士を思ふ大君のため
新しきインクの匂ひなつかしみ想ふことなど日記に
書きたり
號外の鈴音寒し戦線の友を思ひて心するどく居る
佐 藤 正 實

産業博の呼びびもの 坑内作業実況

上海事件の大パノラマ

美人のサービス

既報昭和産業博覧會の工事は大規模な建築物も大体完成したので同事務所には出品や賣店等の申込み殺倒し繁忙を極めて居るが第二會場には滿洲上海兩事變の大パノラマを設置する外第三會場には磐城炭礦出品最新式コールドクターを運轉石

炭採掘の實況を觀覽せしめるが呼物となると見られて居るが尙帝國生命保險會社平出張所では一般觀衆の爲めに第一會場に無料休憩所を設置し美人サービスガールを置き無料サービスを行動ふとの事で今から人氣の焦点となつて居る

平商の卒業生

卒業後の方針決定

平商業にては既記の如く十二日卒業式を舉行する筈であるが五年制卒業生は四十名にて其内
進學三名、自家營業又は自己就業十二名、就職希望廿五名
また三年制卒業生は百六名にて
進學四十五名、自家學廿三名、就職希望廿八名
である因に卒業生氏名左記の如くである(◎優等、○は無欠席)

産業組合が 理事會招集

縣下大會の 協賛を協議

石城産業組合部會では午後一時より同所にて理事會を開き各種議案を協議するが十六日午前十一時よりは同所に通常總會を開催左記の件に就いて議案可決を行ふと

衛生上の 打合

傳染病 流行に備ふ

春期となつて各種傳染病の流行期に入るので郡下各警察署では是が豫防策として各町村衛生係を招集衛生事務の打合せ會を行ふ事になつたが郡下三署の打合せ日

植田農事講習

石城郡植田町農會では十五日東京の帝國農會の幹事岡田温氏を招聘同町小學校に於いて農作物の講習を行ふ筈である

人遠野農事講習

石城郡入遠野村農事實行組合では十三日午前十時より村役場に於いて總會を開働本年度事業の報告並に役員の改選を行ふので郡農會より柴田技手が出席すると

井の 三 手切 商 品 番 八 四 三 二 電 平 三

- 大郎 ○渡邊善彌 渡邊 女男 渡邊祐助 渡邊努 渡邊一 加澤行之進 金 成榮二 金田定男 河野 清一 吉田静麿 樽石勇 助 田部井幸男 武子安 男 田口文典 高木武志 田仲清 田名綱欽一郎 高野鐵雄 田山正雄 ○ 高木吉郎 ○ 杉木秀雄 塚越説雄 中川榮 植野 榮 久保木茂稻 ○ 九頭 見榮 山家正 ○ 山田正 直 山田勝巳 ○ 山田定 増澤勇 馬目清 ○ 間宮 喜久雄 馬目貞一 深谷 一郎 藤島武 稻富久 小山喜一郎 小泉浩平 小林三男 ○ 小溝幸一 相場星雄 麻原好重 安 島賢司 佐々木道典 佐 藤武雄 佐藤致中 佐藤 初徳 三郎幹失 齊藤武 時雄 酒井寛 佐藤渡三 郎 齊原三男 佐々木植 夫 ○ 佐藤繁雄 佐藤行 雄 坂本泰造 木村武男 志賀謙二 ○ 四家肇 久野半四郎 廣田良夫 ○ 門馬利治 關場修一 郎 鈴木忠男 鈴木良吉 鈴木寛 諏訪二郎 鈴木 滿義 ○ 鈴木幹雄 ○ 鈴 木徳重 鈴木正秀

信用組合總代人の 候補者續々現る

▽町議改選以上の大騒ぎに ▽金融機關の政黨化を悼る

平信用組合庶民金庫における總代人二十名の改選は期日切迫と共に候補者が續々現れ現在では各區全町を八區に區劃共定員の二倍乃至三倍に達して日に夜に猛烈な進行運動を開始してゐるので町議改選以上の大騒ぎを演じてゐるが殊に今回は一部を除き政黨的に往々に争つてゐるものがある。一部識者は金融機關の政黨化をおそれ策動に對して眉をひそめてゐる因に目下總代人の候補者と目されて居る人々は左記の如くである

- △第一區 定員三名
植頭鶴松 金成泉一郎
會川卯三郎 馬目雅治
- △第二區 定員二名
渡邊貫一 比佐信太郎
柏原眞吾
- △第三區 定員三名
高野爲三郎 海老根淺吉
- △第四區 定員三名
鈴木與三郎 丹野周一郎
山野邊東次郎 諸橋國松
松崎長三郎 荒川淺次郎
岡田千藏
- △第五區 定員三名
愛澤長次郎 永崎庄次郎
吉田鎮政 櫻井清 高橋龜松

人心安定が明か 米相場が浮動しない

政界變動の影響で郡下の米相場は異常な高値を呼び農民運を善ばして居り當時は四等一俵九圓、五等八圓八十錢と云ふ高調子の相場を現したが其後政界財界共に安定すると同時に米價も四等八圓六十錢、五等八圓四十錢と低價し以來同相場は本日迄持續して居るが斯うした一定の相場が長期に渡つた浮動せぬのは平穀物検査所開設以來初めての事で全く人心安定を明らかにしむる一證左である

益おどり傷害 けふ平支部で公判

検事は懲役を求刑

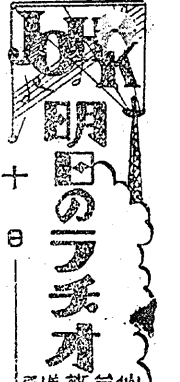
石城郡植田町大字植田字江畑松田松壽(三)及高木正明(九)の兩名が昨年九月九日午後十時頃渡邊村大字釜戸諏訪神社盆踊の歸途同村大字松小屋 永野喜一の前

酒好き ルンペン 謀計破る

八日午後四時頃石城郡小名濱町字古港酒店越後屋事黒田好之助方へ漁夫らしい男が三圓の酒を注文し築港内の漁船に居るからと同店員木村英雄(二)に持たせて出掛けたが漁業組合事務所附近で言葉巧みに店員から注文の酒を受取逃走せんとしたのを大騒ぎされて取押へられ其筋へ突き出されたが茨城縣水海道町生れ高畑甚吉(二)と云ふルンペンと判明したが目下餘罪取調中

家屋調査 貸賃調査

石城郡では来る十五日平小名濱、湯本、内郷の各町村一齊に家屋賃賃格調査會を開らく豫定である



明日のラジオ

今晚は南風 曇明日は北西の風に變り晴

今晚の部

- 後六、〇〇 野外實演ラヂオ情景仙臺廻廻練兵場より中繼「滿洲事變」第二師團留守隊主催
- 後七、三〇 講演 東京中央放送局放送部長矢部謙次郎
- 後八、〇〇 謠曲
- 後八、五〇 ギター演奏「グアイオリン獨奏アレキサンダーモギレフスキーピアノ伴奏ナゲジタロイ

明日の部

- 後九、一〇 料理献立「ばっか飯」松本良雄
- 後九、三〇 家庭講座「就後の人」安倍季雄
- 後九、五〇 獨唱と管絃樂 獨唱井上協子 東京ラヂオオーケストラ
- 後二、〇〇 法要中繼「日支事變戦死者追悼大法

論告に移り被告松田

松壽に對しては懲役四年高木正明に對しては懲役三年の求刑あり武田、山野邊兩辯護士何れも正當防衛の故を以つて無罪であるとの論旨に基き判長廣吉を揮ひ午後二時十分閉廷判決言渡は来る十六日午前九時である

五丈餘の 崖から墜落惨死

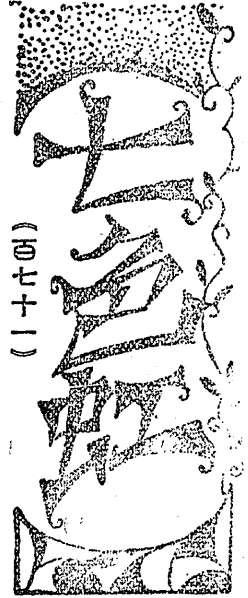
泥酔した失業者

石城郡内郷村大字高坂字館野居住秋田縣由利郡河内村字小川生れ三船惣太郎(四〇)は八日夜八時頃同村鍛冶屋大門辰吉方より歸途不動澤炭礦より杉山炭礦に通ずる山道を通行中泥酔して居た結果足を踏はずし高さ五丈餘の地点より墜落頭部を強く打して其場に絶命したが同

平町人專

- △出 出 出
△仲政町四一江尻竹次郎氏三女恭子
△月見町二六齋藤音次氏三男勇男
- △死 亡
△鍛冶町當時石城郡好間村字推木平會川雄雄(八ッ)

小説



【載轉禁】

渡邊 默禪 作
布施平八郎 畫

別れ路 (2)

「まア、我慢をしてゐるのいろ／＼辛ひことや口惜しいことが重り合つて来てほんとに詰らなく思ふのよ爺や」

「そりや貴女、何處へ往つたつて附物でさあね、坊さんの文句で此の世は火宅濁世劫の消えないうちは苦勞の絶えるものぢやげせんよ、な」と、會社の仕事は何ですまさか女優ぢやないでせうね」

「いえ、營業部の平事務員よ、だけれども周圍が周圍だからいろんな面倒くさいことはかりあつてねえ、女優になれつて勤められるが一番うるさいの」

と何を思ひ出したか眉を蹙せたが、その下からふと氣づいたやうに

「爺や今日お見さんが見えたといふぢやないの」

「あの尋ねてお出になりました、惜いことをしましたなもう些と早く入らつしやりあお遇ひになられたのに……お嬢さん、若旦那は明日南洋へお立ちになるそうですよ、御承知ですか」

いきなり淋しい思ひをさせられるのを好まなかつた。兄の健康も氣づかつたで、いろ／＼に言つて留めて見なければ兄は承知しなかつた。

自分の力に餘つて淨念に縋るべく訪れて來たのであつた。

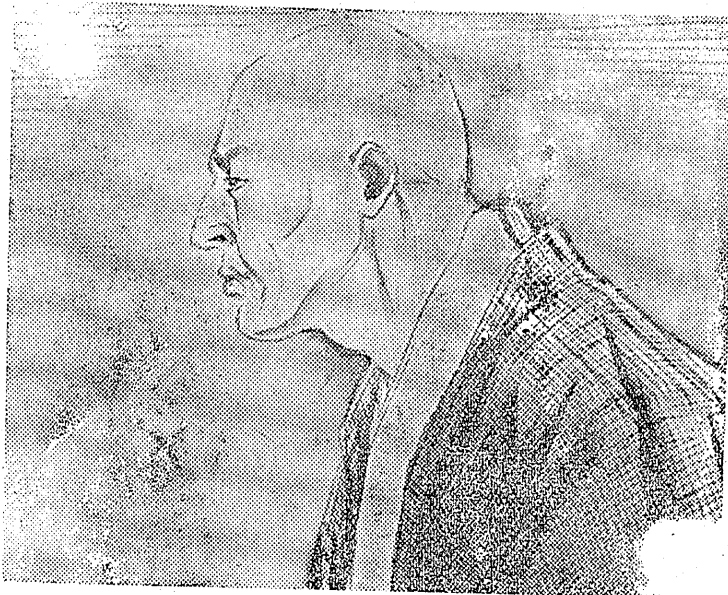
「それはお嬢さん、貴女としちやあ無理もないことだが、私に言はせると今の御身分ぢやあ些と贅譯過ぎたお考へのやうですげね、お兄様とも境遇が前とすつかり變つてゐるんだから、時につれてもつと太ッ腹な、火

源之助は出勤してゐる護謨製造會社から南洋のハッ

と鼻の間にある南洋ぐらゐは飛石を一つ渡つてゆくやうなもので、風土や氣候もこつちで想像するとは大違ひ美しい極樂鳥の飛んでゐる花の樂園であるやうに話を聞かせ悦んで兄が成功の前途を送るべきだと勵ました。

と千代子は暫く考へて居たがやがて遺る瀨なげな淋しさとなへた顔にやつと噴やかな笑を見せた。

「それぢやあ然ういふことに爲るわ、ちやうど明日の同じ船で、私の會社からも立つ人があるのよ、それは專屬のキネマ役者で、ほら米國から歸つて來てからえらい人氣を取つた北川信太郎といふのがあつてせう。その北川が今度また歐羅巴の方へ出かけていくんですつて、女優交の一座に妹さんが首頭で新嘉坡へ上陸してから南洋の重なる土地を巡行して、それから一座と別れて北川だけ渡行するんだとかいふ話よ。」



引續いだにつき重役が一名出かけてゆくその隨行なので、彼の技倆を見ぬいた會社では彼の成績振如何に依つては重要な地位に引揚げるつもりださうである。

彼は勇んで出かけることになつた、でも千代子は只一人便りとする兄に別れて

貴金屬
時計及眼鏡類
懷中電燈
キミガヨ電氣
ランプ特約店
高橋時計店
平町橋小路

藤沼醫院

平町紺屋町
電話七〇五番

時は春!!!

◎新入學生の通學に……
◎セヒ必要な時計を……

白寶堂時計店

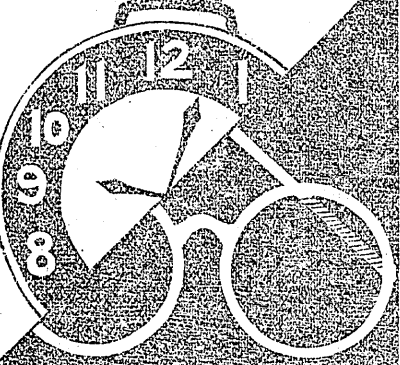
(へ向店服吳橋諸)町川新町平

りん病
こしけ 永らく悩む人の福音
天下の名湯別府温泉で出來た無効返金責任藥
商標
岩別府私
全圖知名新聞 朝日、東京日々、大阪毎日、富士、雜誌推獎 講談俱樂部、主婦之友廣告御參照
右は岩里家古來よりの家傳秘法藥にして男女血らし慢性淋病、こしけ、過渴の病みは不思議に止り連服するも絶對胃腸傷害なき各葉であります。
尚ほ此の藥は責任速効藥で二日内服して効なき時は殘藥引換に全部異議なく返金します。
論より證據服藥した人は皆全快喜んで居ります。慢性、悪性の人は七日以上服差して下さい。
美本淋病治療書無代進呈 此の新聞各記入申込者に付前金申込者には送料無料、新品送藥す。
代金引換廿三錢手数料金納の事。

藥價
急性用(黒箱) 一週分 參圓
慢性用(赤箱) 一週分 五圓
特約一 平町古鍛冶町一〇
手販賣 阿康藥舖
縣社ノ下(電話四四番)

小兒ノかんむしニあかひき丸堀藥局
平町二丁目
電話三二六

お客様本位の……



好適の眼鏡

大塚の
學生靴!!!
耐久新製品
編上靴 六・〇〇
半靴 五・〇〇

不安心なるキカイ靴より、安心得る弊店の靴を……

大塚支製靴部
電話七七番

市原醫院
平町田町
電話一四番